

<p>1 チーム名 (研究対象領域・教科) 生活単元学習</p>
<p>2 メンバー 小学部教員 9名</p>
<p>3 チームのテーマ ○児童が主体的に学ぶことができる生活単元学習を目指して ～場の設定や教材・教具の工夫～</p>
<p>4 対象児童生徒に願う主体的な姿</p> <p>【実践1】 「やってみたい」という意欲をもち、自分で取り組む姿 【実践2】 活動過程を知り、興味を持って活動に取り組む姿 【実践3】 興味を持って、自分から手をのばして教材にかかわる姿</p>
<p>5 研究仮説</p> <p>場の設定や教材・教具を工夫し、「できる状況づくり」を行うことで、児童が主体的に学ぶ姿を引き出すことができるのではないかと。</p>
<p>6 研究実践の内容</p> <p>◇授業実践3事例</p> <p>【○ こうしたから主体的な姿につながっていたと感じる場の設定や教材・教具の工夫】 【● こうすれば、さらに主体的な姿につながった】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>この2つの視点で意見交換し、3事例から見えた共通する部分を探り、自身の授業づくりに生かす。</p> </div> <p>【実践1】 小学部2年○組 生活単元学習「えのぐであそぼう」 *さまざまな技法を使っての絵の具遊び。本時は「家」への色ぬり。</p> <p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の<u>興味関心</u>を追及している。 ・活動に使う道具や活動そのものが<u>選べる</u>。 ・環境設定、教材の提示や設置の仕方が児童に<u>わかりやすい</u>。 ・<u>素材を生かした</u> (ビニール、スチレンボード等) 教材。 ・児童にとって見た目のインパクト大。<u>ダイナミック</u>な教材。 ・児童の力や手の大きさに合わせている<u>扱いやすい</u>教材。 <p>【●】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材のダイナミックさ「家」と、活動内容を合わせた活動を増やす。

【実践2】 小学部4年〇組 生活単元学習「パンを作って食べよう」

*パンの種類や作り方を知り、見通しをもってパンを形作る。本時は、共同調理。

【○】

- ・児童の実態をとことん分析している。
- ・視覚的にわかるヒントがたくさんあり、不器用な児童でもやろうとする教材。
- ・扱いやすい教材。(パン生地の配合の工夫、まな板のガイド)
- ・児童ができる活動(のばす、丸める)を取り入れる。
- ・調理手順を「歌」(聴覚に訴える)にすることで、児童の動きを引き出す。
- ・既習の学習を生かし、できることから一歩すすめた教材。

【●】

- ・個によっては、支援の内容(ヒント)を減らす。

【実践3】 小学部1年〇組 生活単元学習「ぴかぴかランドであそぼう！」

*いろいろな光遊びがあることを知り、興味のある活動を選ぶ。

本時は、興味のある光遊びを選んで遊ぶ。

【○】

- ・児童の「つぶやき」を教材作成に生かしていた。
- ・児童が目に留めやすく、手をのばしたくなる教材。
- ・友達との関わりが持てる教材。
- ・安全面に配慮がある教材。
- ・教師も一緒に思い切り遊べる環境作り。
- ・教材にその子ができる動き・活動を取り入れている。

【●】

- ・今後も、繰り返し活動を行っていく。

7 成果と課題

三つの授業実践から見えた共通点は、①児童の実態把握、②児童の興味・関心を引き出す、③思い切り活動できる環境作りであった。生単グループがめざしている「児童が主体的に学ぶことができる生活単元学習」に近づくことができた。グループでの話し合いを通して自身の授業作りのヒントとなり、今後を生かしていける研修となった。